

## 広報体制の強化について

将来構想「平塚市民病院 Future Vision 2017-2025」では、国が進める医療の機能分化を推進し、患者満足の上昇や社会貢献のための取組を行うこととしています。

また、今年度実施した「平成 30 年度行動計画策定プロジェクト」（中堅・若手職員で構成）や「ワークショップ HCH2017」（各部署の代表者等で実施）でも当院の弱い点として「広報」や「対外的なアピール」が挙げられました。

広報・情報発信を強化し、当院の取組を対外的に発信することで、社会貢献や患者満足の上昇とともに魅力アップを図るため、平成 30 年 1 月から経営企画課に広報の専任職員を配置し、患者や市民から「選ばれ、信頼される病院」となるよう次の取組を行っています。

## 1 対外的な取組

## (1) 院内での「市民健康講座」の開催

これまで実施していなかった院内での「市民向け健康講座」を今年度から新たに開催し、公立病院として、社会貢献することとしています。

《今年度実施実績と予定》

- 1 1 月 1 6 日（木）・・・「大人のための予防接種の話」（副病院長 高橋 久雄）・・・14 名参加
  - 3 月 1 5 日（木）・・・「男性・女性の尿失禁」（泌尿器科部長 森 紳太郎）・・・45 名参加
  - 3 月 2 2 日（木）・・・「家族みんなで減塩生活」（栄養科 松浦 純子）・・・18 名参加
- ⇒次年度も引き続き実施予定

## (2) 「ホームページ」、「広報誌」での積極的な情報発信

今までは、院内でのイベント（患者向けのコンサート等）、院内研修（感染対策等）などは主催者から依頼があった場合のみ、「ホームページ」や「広報誌」に掲載していました。

↓

院内活動について、広報専任職員が事前に情報を把握し、取材に行き、「ホームページ」や「広報誌」で当院の患者サービスや医療の質の向上に向けた取組の実施状況等を広く発信することで、安心・快適に通院・入院していただけることを PR することとしました。

## 2 対内的な取組

## (1) 「院内ニュース」による院内での情報共有

これまでの「院内ニュース」では、会議結果や異動情報しか掲載していませんでした。

↓

上記の「1 (2)」で取材した院内でのイベントや院内研修について、「院内ニュース」でも発信することで、職員全員が院内での活動に関心を持つとともに、情報共有することで、各職員が「一人ひとりが広報マン」となれるようにしました。

以 上